

	2017年11月 茨城学習センターだより 第71号
	もくじ 巻頭言……………1 平成29年度第1学期卒業生……………2・3 平成29年度第1学期学習奨励賞……………4 平成29年度第2学期入学者の集い……………5 開設20周年記念行事&学園祭……………6～9 茨城学習センター活動報告……………10 視聴学習・図書室の利用について……………11 今後のスケジュール/事務室からのお知らせ……………12

発行 放送大学茨城学習センター

〒310-0056 茨城県水戸市文京2-1-1（茨城大学構内）

TEL：029-228-0683 FAX：029-228-0685

茨城学習センターの歴史を感じる 開設20周年の記念の祝

放送大学茨城学習センター

所長 横沢 正芳



本学習センターの開設20周年を祝って催された記念の行事には学生をはじめ関係する多くの方々がありその歴史が語られた。記念式典には、茨城県に生涯学習の高等教育機関の拠点として放送大学茨城学習センターが開設された当初からご協力・支援されてこられた茨城県を代表する金融、報道、看護師、教育などの機関、自治体の方々が多数ご参列され、共に祝われた。放送大学が地域の文化と教育に寄与する存在として広く認知されていることを実感することであった。記念講演では来生学長が「日本人と海—日本は真の海洋国家足りうるか？」と題され話され、参加者は興味深く聴かれた。記念式典と同時開催したオープンキャンパス・学園祭2017では、歴史ある多くのサークルや同窓会でその歩みを綴るりっぱな小冊子が各々作られ参加者に紹介され、それらが「20周年活動展」と新聞にも報道され広く知らされた。茨城県立図書館ギャラリーでは、記念展示「江戸時代の城下町と陣屋町」が開かれ、小野寺淳客員教授監修の展示に多くの市民が訪れ熱心に見入っていた。また、10月21日に開催された記念文化講演会「芭蕉が『おくのほそ道』に込めた思い—芭蕉自筆本に基づく新解釈」（講師：魚住孝至放送大学教授）は、開催する前から多くの問い合わせが寄せられるなど強い関心をもって迎えられた。生涯学習機関である放送大学が地域との交流を広めるよい機会となった。

今年のオープンキャンパス・学園祭では、20周年を記念し、茨城学習センター初代の所長である栗村芳實先生による公開講演会「隠れキリシタンと政宗」が開かれた。この演題と同名の書が今年の1月に発売された機会をとらえての講演会であった。先生が講演会終了後に、車椅子に乗られセンター3階のエレベータを待っておられるときに、ガラス張り部屋（多目的スペース）を見つめて、「これは何の部屋ですか？」と尋ねられた。「これは学生がゼミなど自由に使える部屋です」と答えた。栗村先生が所長を務められておられたときには、放送大学の施設は茨城大学に間借りする状況で、学生を狭苦しい視聴覚室に詰め込み迷惑をかけたとの思いをもっておられることを知っていたので、先生が感慨深く「いい部屋ですね」と仰ったときは強く感ずるものがあった。20周年の記念行事は、準備するときには思ってもみなかったことが起こるものである。

ご卒業おめでとうございます

平成29年9月、茨城学習センターから教養学部26名の方がご卒業され、10月1日（日）に、茨城学習センターの講義室において、学位記授与式が挙行されました。式では、学位記授与、横沢所長式辞、客員教授並びに来賓紹介に続き、学位記授与者代表の小泉準一さんより謝辞が述べられました。心よりお祝い申し上げます。

学位記授与者



学位記授与代表者 小泉準一さん



学位記授与代表者挨拶

「感謝を込めた生涯学習の放送大学」

小泉 準一

(教養学部社会と産業コース卒業)

私は社会人になってから、ずっと学びたい気持ちを捨てきれず、放送大学に入学しました。社会人として、一人の父親としてこなす上で働きながら、勉強をする事は非常に簡単ではありませんでした。なぜ今更勉強する必要があるのか？どうして学びたいと自分が思うのか？もしかしたら周りにはそう思っているのでは、と思ったこともありました。

しかしこの6年間の大学生生活は非常に有意義でした。社会で学ぶことの中に、勉学の基礎を身に付けることで、仕事において非常に視野が広がり、探究心は更に自分の中で強くなりました。仕事においても、今現在周りで起きているニュースなどにも興味を持ち、そして働く中で活かされ続けました。

もしかしたら、現役の私が、会社で働く私にとって、最も良いタイミングに大学で学べたのでは…と思っています。

会社の仲間にも今の自分の姿勢が刺激を与え、皆が色々な事を学びきっかけを与えました。学習とは、生涯をかけて行うものだ改めて感じました。

そして、父として学ぶ姿を子供たちに見せてきたことも、非常に良い結果だったと思います。親は子供に「勉強をしないと、後で苦労するぞ。」「若いうちに勉強をしっかりとっておくんだ。」など様々の子育ての仕方があります。しかし、うちの子供たちはそんな事は言っても、伝わりません。大人になっても楽しそうに勉強をする親の姿以上に、学習する興味を与える事などないと思っています。いくつになっても、一緒に机に向かい学習をし、テストを受け、自分の成果を確認する。そして、その事に一喜一憂している姿に、学ぶ事の楽しさを目の前で教えてきたと思っています。親自身がいつまでも楽しみながら勉強する姿を見て、少なくとも、私の子供のころより子供達は楽しく学んでいるように思います。

自分の人生に学びきっかけを与えてくれた放送大学に、本当に感謝しています。

卒業生からのメッセージ

「卒業にあたって」

藤崎 勝夫
(教養学部社会と産業コース卒業)

この度卒業することになった藤崎勝夫です。よろしくお願いします。思い起こせば私が放送大学の門を叩いたのは、平成16年の前期です。その頃のセンター所長は、奥達雄先生でした。以後勉学に励み、「人間と文化コース」「自然と環境コース」を卒業し、今回「社会と産業コース」を卒業することになり、計3回目の卒業式に臨みます。

藤崎という人間は面白い存在です。学べば学ぶほど欲が出てきます。つまり欲張りなのですね。4回目の卒業を狙って「生活と福祉コース」に挑戦するつもりです。生活と福祉コースには、「健康長寿のためのスポーツロジ」とか、「認知症と生きる」とかの実用的科目があり、学び甲斐があります。がんばります。



「学ぶこと・生きること」

斎藤 寿子
(教養学部生活と福祉コース卒業)

苦しみのどん底にいるとき、人間は自分の目の前しか見えなくなります。しかし、学ぶことでその暗闇にひとすじの光が走り、世界が広がっていくことを私は実感しました。放送大学で学ぶことが私の小さな世界を広げ、私自身が救われたことがあります。そして、自由に学ぶことができる放送大学は私の好奇心を満たしてくれるのです。また、大学院で修士論文と格闘したとき初めてパソコンに出会い、その後は放送大学のPCクラブで達人たちの指導を受けて今も楽しく活動しています。ゼミや面接授業で素晴らしい先生方にお会いできることも大きな魅力です。

15年間放送大学に支えられて生きてきた私ですが、今、3回目の卒業を迎え、新たな気持ちで好奇心を大切に“永遠の女子大生”をめざして学んでいきたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。



「卒業にあたって」

石川 敦史
(教養学部心理と教育コース卒業)

職場において精神面に問題や不安を抱えている社員の面接を実施しているなかで、自分自身のこれまでの経験や考え方（精神論）では、解決できず、どうしたらよいか悩んでいた時、放送大学の心理と教育コースの存在を知り、まずは、自分自身のこれらの悩みを解決に結びつけることができるようになりたいと思い、2013年4月に入学（3年次編入）しました。久しぶりの勉強はとても楽しい日々で、面接授業では、茨城学習センターのみならず、文京、足立の各学習センターに出向いて心理学実験などの授業を受けました。あっという間に4年が過ぎて、今年5年目4月の時点で、今回単位取ってしまうと卒業しなければならないのだなと思い、卒業間近の今でもすごく寂しい思いになっています。

4年6か月勉強した結果、人の心を理解するのは簡単ではないことと、自分自身では、人の話を聞く時に経験や思いが先入観として入り否定的な対応をすることが多かったが、今では相手の言葉や思いが素直に自分の心に入り受け止めることができたことだけでも、勉強した成果かなと思うところです。最後に、放送大学を卒業するにあたり、支援してくれた家族、放送大学関係者の方々にこの場をお借りしてお礼を申し上げます。また、いつか（3年後を予定）に生涯学習の場としての放送大学に戻るつもりです。ありがとうございました。



「卒業-女性のキャリアデザイン」

野澤 晴美
(教養学部生活と福祉コース卒業)

私は、出産の為に休学期間を含め、12年半の大学生活を送りました。その中で得たものは、私の財産であり、宝物でもあります。

特に、オンライン授業の中での「女性キャリア入門」を受講したのが、きっかけとなり、今まで曖昧だった、将来の指針が、明確となったのです。また、女性としてのキャリア形成に真摯に取り組めました。女性のキャリア形成の関連本を読んだり、私としては、一番熱心に取り組んだ科目かもしれません。

卒業にあたり、更に、自分のキャリア形成の実現に向け、社会に役立ちたいと思います。そして、何より卒業まで支えてくれた家族、面接授業でお世話になりました先生方、そして、共に学んだ方々、長い間お世話になりました。ありがとうございました。



学習奨励賞表彰

■平成 29 年度第 1 学期学習奨励賞表彰者

学習への高い志と絶えまぬ努力に敬意を示し称えらるとともに、学び得た知識と能力を活かし、生活と人生を豊かにされ、また、社会の発展に貢献されることを祈念し、10月1日(日)茨城学習センターにて、学習奨励賞の表彰式と懇談会を開催いたしました。表彰は、学部または大学院の3コース(プログラム)以上を卒業・修了された方に行い、卒業・修了されたコース・プログラム数に応じて、茨城の山々の標高にちなみ、『神峰賞』『筑波賞』『八溝賞』の愛称名を付しています。

卒業コース(専攻)数または修了プログラム数が3, 4, 5回に達した学生を表彰いたします。

卒業または修了回数	愛称名
5回	八溝賞
4回	筑波賞
3回	神峰賞

八溝賞	齋藤 保さん	
筑波賞	太田 洋二さん	影山 稔さん
	沢原 久江さん	堀井 信治さん
神峰賞	赤間 忠廣さん	宇佐美 陽さん
	斎藤 寿子さん	藤崎 勝夫さん
	廣木 勉 さん	

学習奨励賞表彰者



学習奨励賞懇談会



学習奨励賞表彰者代表挨拶

八溝賞(自然の理解、人間の探求、産業と社会、心理と教育、生活と福祉)

齋藤 保 (教養学部情報コース)



放送大学入学のキッカケは、40年間務めた会社を退職したときです。現役時代に本を買っても忙しい仕事を理由に、本はつんどくになっていました。退職を機会にもう一度勉強し直してみようと思ったからです。

放送大学の授業では、さまざまな事象・法則について、何故そう言う事がわかったか、科学的根拠は、自然法則との関連は、ほかの現象にどう関わっているか、等々が提示されるので、事象・法則を自分で判断でき、意味まで考えることができるようになることを目的として書いてあります。以来、意味を考え判断できることを目指して勉強を続けています。

再入学を繰り返し、すでに14年経ちました。その間に強く印象に残った科目は、宇宙の進化、カオス学、朱子学、仏教の思想、ユング心理学、食の安全性学・・・とありました。今回の表彰は大変ありがたく思います。私にとって放送大学は生涯学習の場であり、これからも学び続けたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

ご入学おめでとうございます



10月1日(日)、茨城学習センターにて「入学者の集い」と、同窓会による「歓迎茶話会」が執り行われました。「入学者の集い」では、横沢所長挨拶、客員教授ならびに来賓祝辞、新入生代表・平塚良枝さんからのご挨拶があり、また、歓迎茶話会は、各サークルの紹介や入学者の自己紹介等大変和やかな会となりました。

入学者の集い



新入生代表 平塚良枝さん挨拶



歓迎茶話会



新入生代表のこたば

平塚 良枝 (教養学部心理と教育コース入学)

さわやかな秋晴れの下、本日は、私たちのためにこのような心のこもった会を開いていただきまして、ありがとうございます。

私たち新入生は、異なる年齢、いろいろな経緯、様々な目標がありますが、「学びたい」という一つの強い気持ちを持って入学します。

私の場合は昨年、「発達障害」の問題を目の当たりにしました。

何の知識もない私は、人格を否定する言動を取ったり怒ったりしてしまいました。やっと最近になって「発達障害」がメディアでも取り上げられて、少しずつ理解されるようになりました。私自身が知ったのもメディアを通してでした。発達障害の方も周りにいる方も双方が理解し合えばより良い関係、延いてはより良い社会になると思いました。

また、三十年以上抱いていた大学卒業という夢を実現すべく、教養学部の心理と教育コースに入学します。

いくつになっても学ぶことはできます。学び続ける者はみな若く、人生において一番大切なことは頭を若く保つことだそうです。

そのために、力強いサポートを与えてくれる先生方や職員の皆様と共に、この素晴らしい環境の中で少しずつ歩んでいきたいと思っています。

何卒多岐に渡るご指導をよろしくお願い致します。

この実り多き季節に入学出来る喜びを感謝しつつ、挨拶の言葉とさせていただきます。

放送大学茨城学習センター開設20周年記念行事

オープンキャンパス・学園祭2017

～学び！集い！生きる喜び！～

・10/14 記念式典

・10/14 記念特別講演会

「日本人と海—日本は真の海洋国家足りうるか？」放送大学学長 来生 新

・10/14 記念祝賀会「郷土芸能：石岡囃子」

・10/15 記念講演会

「隠れキリシタンと政宗」放送大学茨城学習センター初代所長 栗村 芳實

・10/11～10/15 記念展示会

「江戸時代の城下町と陣屋町」茨城県立図書館ギャラリー展示室

・10/14～10/15 学園祭出品作品等

・10/15 学園祭イベント

「オリジナルソングとフォークソング演奏」ANAK

・10/21 記念文化講演会

「芭蕉が『おくのほそ道』に込めた思い-芭蕉自筆本に基づく新解釈」

放送大学教授 魚住 孝至

記念式典

茨城学習センターは開設20周年を迎え、学長のほか、来賓の方々のご臨席のもと厳かに記念式典が催されました。開会の辞のあと、学歌斉唱、来生放送大学学長の式辞に引き続き、本学習センター横沢所長の主催者挨拶、三村茨城大学学長、小野寺茨城県教育委員会教育長のお二人から祝辞を賜りました。



来生 新
放送大学学長



横沢 正芳
茨城学習センター所長



三村 信男
茨城大学学長



小野寺 俊
茨城県教育委員会教育長

「日本人と海-日本は真の海洋国家足りうるか-」 来生 新 放送大学学長

放送大学の来生新学長による、茨城学習センター開設20周年記念特別講演会が、10月14日(土)に開催されました。「日本人と海-日本は真の海洋国家足りうるか-」と題して行われ、70名を超える方々が熱心に聴講されました。日本人と海の歴史や世界情勢、今後の海洋政策のあるべき姿などを、専門とする法律的視点を通し、スライドで分かりやすく解説されながらご講演くださいました。



記念祝賀会

記念特別講演会に続いて「記念祝賀会」が、茨城大学の茨苑会館食堂において開催され、横沢所長の挨拶の後、矢野正義茨城同窓会会長から祝辞が述べられました。また、祝賀会アトラクションとして、岩崎洋二会長率いる森木囃子連の、石岡市の郷土芸能・石岡囃子の華麗な舞いが披露されました。学長・来賓の方々、学生の出席者全員で、開設20周年を祝い、記念祝賀会は、盛会のうちにお開きとなりました。



矢野 正義
茨城同窓会会長



「隠れキリシタンと政宗」 栗村 芳實 先生

記念講演会

記念講演会は、10月15日(日)に茨城学習センターにて開催されました。講師は、放送大学茨城学習センター初代所長の栗村芳實先生で、「隠れキリシタンと政宗」と題して行われました。初代所長の頃より学ばれている学生も多く、当時を思い出してか、深く頷きながら熱心に聴講されている学生が数多くいらっしゃいました。



栗村 芳實
茨城学習センター初代所長

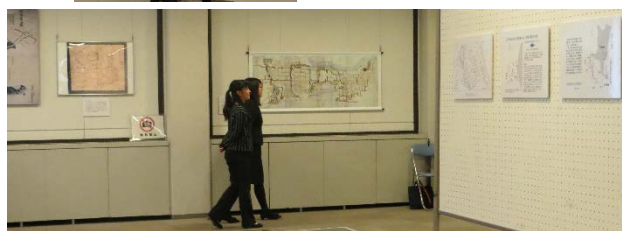


記念展示会

10月11日(水)～15日(日)



茨城県立図書館ギャラリー展示室にて、小野寺淳客員教授監修の記念展示会が、5日間の日程で開催されました。1日平均100名、のべ500人以上の方々が訪れ、14日(土)には、小野寺研究室卒である、有賀由起子さんと、石井智子さんが、解説員として、関心の高い数多くの質問に丁寧に答えてくださいました。



10月15日(日)

学園祭イベント



放大マルシェ



香り文化サークル練香体験会



パソコンクラブ体験



英会話サークル
歌を歌おう



学生交流会入学相談



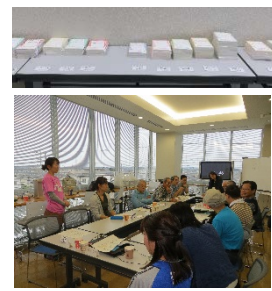
有機野菜販売生産者の皆さん



ANAKによる演奏アトラクション



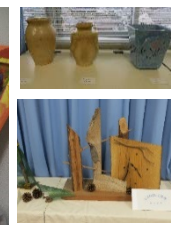
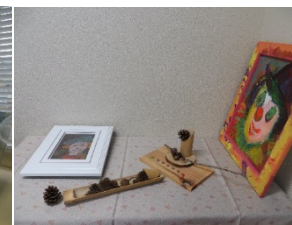
未来環境クラブ
プロジェクト発表



フィットセラピーサークル
ハーブティーを楽しもう

学園祭展示

10月14日(土)～15日(日)



放送大学茨城学習センター開設20周年記念文化講演会が、10月21日(土)、茨城県立図書館の視聴覚ホールにて開催されました。講師は放送大学教授の魚住孝至先生で、「芭蕉が『おくのほそ道』に込めた思い-芭蕉自筆本に基づく新解釈」と題して行われました。作品全体の構成や主題を問題にし、芭蕉の人生も考え合わせながら、作品で達成された俳諧の可能性や後世への影響なども含めて、分かりやすくご講演くださいました。あいにくの雨にもかかわらず、約160名の方々が熱心に聴講され、永遠の古典を残そうとする芭蕉の思想に思いを馳せ、感銘を受けられたご様子でした。



魚住 孝至
放送大学教授



開設20周年記念行事参加者の声

20周年おめでとうございます。節目にふさわしい有意義な行事ばかりでした。

2日間共雨で残念でしたが、学生と教職員の熱気が感じられ、大変盛り上がりました。

これからも発展的な30周年を目指し、学生と教職員が一緒に進んでいけたらいいと思います。

各サークルの展示に力が入っていました。日頃の活動や様子が分かりやすくまとめられていてよかったです。

学長とお話できることは普段無いのでとても貴重な機会をいただきました。講演も聴けて有意義でした。

サークル作成パンフレットがどれも素晴らしく、これまでの学生活動の歩みもよく分かりました。

行事が盛り沢山な充実した2日間でした。県立図書館でのギャラリー展示も見に行ってもよかったです。

学生が育てた有機野菜やお米の販売がよかったです。コーヒーも美味しくいただきました。

講演会がたくさんあり、勉強になりました。30周年記念行事にも参加できるように頑張ります。

ANAK長谷川ご夫妻の演奏会がよかったです。やさしい歌声と演奏に心癒されました。

今回の行事全てに参加しました。とても充実し、満足しています。一緒に学ぶ学生と横の繋がりが持て嬉しかったです。

放送大学のこれまでの長い歩みを感じられ、自分ももっとしっかり勉強なくては、という気持ちになりました。



茨城学習センター活動報告



4月

平成 29 年度第 1 学期入学者の集い・茶話会



5月

いばらき看護の祭典

看護師国家試験受験
資格の取得ができます



「学士(看護)」の取
得も可能です!



6月

横沢正芳茨城学習センター所長とのランチ会



日頃の些細
な疑問も話
し合えました

8月

修士論文・卒業研究発表会

卒業研究発表
金子 紀夫さん



修士論文発表
竹内 孝さん



茨城学習センターにはおよそ 1,200 人の仲間がいます!
キャンパスライフを共に楽しみましょう

新着図書 のご案内



茨城学習センター客員教授の推薦図書を平成 29 年度、新しく 93 冊配架しました。

一般図書は、『大学院生：6 冊以内、教養学部生：4 冊以内、貸出期間：1 カ月以内』借りられます。

また放送大学附属図書館には多数の参考図書があり、放送大学HPのOPACからお申し込み可能です。茨城学習センターまで無料でお取り寄せできます。（貸出冊数は別枠）

人生の糧となる本と出会えますように。学習中の科目に限らずどうぞご利用ください。

○哲学な日々 -考えさせない日々に抗して-

野矢 茂樹 著



ここに「ああすればこうなる」式のマニュアルや成功の技術はない。でも読み終えたとき、知らぬ間に身につけてしまった鎧から解放され、本来無一物ゆえの力が宿る。こんな時代だからこそ哲学者が普段着で語り出す。へえ。

うふふ。なるほど！

○グローバル化・変革主体・NGO

-世界におけるNGOの行動と理論-

美根 慶樹 編



グローバル化の流れを大きく左右する<非国家主体>としてのNGO＝市民社会。その行動と理論に迫る注目の論集。我々の身の回りのことから国際条約や核兵器といったかたい問題

までNGO抜きでは語れなくなっている。五人の専門家がそれぞれの視点から考察。

○睡眠のトリビア

宮崎 総一郎 他 編著



「睡眠時間が最も長い県はどこ？」
「ネコは夢を見る？」「朝型人間と夜型人間の違いは？」「スポーツ能力を向上させるための睡眠法とは？」……誰かに話したくなるトリビアから臨床に役立つ知識まで、本書を読むと奥深い「睡眠」の世界をもっと知りたくなる！

○芭蕉 最後の一句

魚住 孝至 著



旅に病んで夢は枯野をかけめぐる一松尾芭蕉、最後の句として知られる死の四日前深夜の「病中吟」である。日々旅にして旅を栖とした俳聖の、最期のイメージに相応しい。けれども実はその翌朝、弟子二人を枕

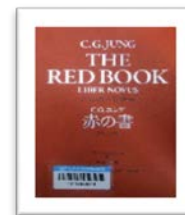
頭に呼び「清滝や波に散り込む青松葉」を遺している。

「改作」というのだが、これこそが辞世の句である。

「不易流行」「軽み」そして最後の句へと境涯深まる芭蕉晩年の五年半に焦点を当て、その実像に迫る。

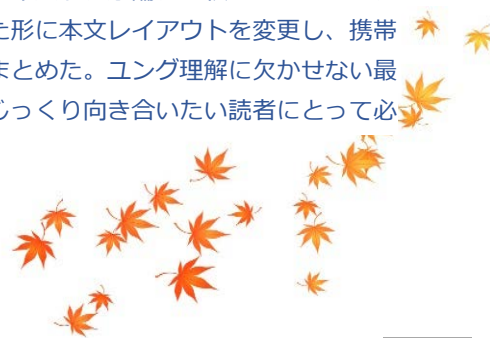
○赤の書 -テキスト版-

C. G. ユング 著



原寸大の美しく精密な複写が収録された『赤の書』原版が公刊されて5年。以来、より詳細な研究のために、持ち運びに適したテキスト版の刊行を求める声が高まっていた。本書はそうした要望に応え、手頃

な大きさと価格で『赤の書』を提供しようとするものである。原版のテキスト、序論、注釈はそのままに、より読書に適した形に本文レイアウトを変更し、携帯可能なサイズにまとめた。ユング理解に欠かせない最重要テキストにじっくり向き合いたい読者にとって必須の一冊。



今後のスケジュール

11月

November, 2017

1 日(水)	教員免許更新講習 [冬期] 受付開始(～11/24)
3 日(金)	文化の日(閉所日)
4 日(土)	ライブラリー講演会 (小野寺 淳 先生)
6 日(月)	閉所日
13 日(月)	閉所日
16 日(木)	第 2 学期通信指導提出開始(学部・大学院～11/30)
18 日(土)	大学院入試(第 2 次選考)(面接)
19 日(日)	大学院入試(第 2 次選考)(面接)
"	学生研修旅行(国立歴史民族博物館・房総のむらめぐり)
20 日(月)	閉所日
23 日(木)	勤労感謝の日(閉所日)
24 日(金)	教員免許更新講習 [冬期] 受付終了
25 日(土)	臨時閉所日
27 日(月)	閉所日
30 日(木)	第 2 学期通信指導提出期限(学部・大学院)

12月

December, 2017

1 日(金)	平成 30 年度第 1 学期募集要項配布開始
"	出願受付開始(第 1 回～2/28)
4 日(月)	閉所日
10 日(日)	第 8 回教員・学生講演会
11 日(月)	閉所日
16 日(土)	ライブラリー講演会 (高橋 修 先生)
18 日(月)	閉所日
23 日(土)	天皇誕生日(閉所日)
25 日(月)	閉所日
29 日(金)～31 日(日)	年末年始休日

■事務室から■

臨時閉所のお知らせ

11月25日(土)は、茨城大学推薦入試のため、入構ができません。臨時閉所となりますのでご注意ください。

学生論集『茨城 SC フォーラム』への寄稿を！

学生論集『茨城 SC フォーラム』は、学生の研究論文、調査報告、技術問題などの解説、先生方や学生の随筆などを掲載することにより、茨城学習センターにおける知的交流の場を提供することを目的として毎年3月に発行しています。つきましては、寄稿者を募集いたしますので奮ってご応募ください。

募集期限：2017年11月30日(木)まで

応募方法：「エントリー・シート」により応募する。(茨城学習センターHPよりダウンロードできます。)

投稿者の決定：2017年12月中旬 原稿提出期限：2018年 1月下旬

提出先(郵送)：放送大学茨城学習センター『茨城 SC フォーラム係』宛〒310-0056 茨城県水戸市文京 2-1-1 (茨城大学構内)

教員・学生講演会開催のお知らせ

放送大学への理解を深めていただくため、教員・放送大学生・同窓生が講師となり、講演会を開催します。

(入場無料 ・ 定員160名)

開催日時：2017年12月10日(日) 13:00～16:00

開催場所：茨城県立図書館 視聴覚ホール 水戸市三の丸1-5-38

お問合せ：放送大学 茨城学習センター 電話番号：029-228-0683

第23回所長杯争奪！ボウリング大会のご案内

単位認定試験も終了し、次学期に向けて充電期間の時期に思ふ存分汗を流しましょう！

開催日時：2018年2月3日(土) 16時40分～

(16時30分までにご来場ください)

開催場所：水戸グリーンパウル 水戸市新原 2-1-37 Tel029-253-4439

参加費用：1,000円

受付開始：2018年1月10日(水)～2018年1月25日(木)

(連絡先：放送大学茨城学習センターTel029-228-0683)

